

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-28-03 号

平成 28 年 8 月 1 日発行

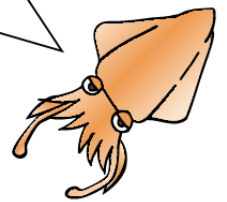
プランクトン調査を 8 月 1 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒の原因となるプランクトンの出現は見られませんでした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)		H28. 8.1	H28. 8.1
地点 (St.)		香住	居組
水温 (°C)		27.8	28.8
塩分		32.5	31.6
貝類の毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痹性貝毒		
麻痹性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0
	ギムノディニウム カテナータム <i>Gymnodinium catenatum</i> (個数/ℓ)	0	0
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0



<規制の基準>

可食部の毒量が

麻痹性貝毒: 4 マウスユニット/g

下痢性貝毒: 0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痹性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ

Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテネラ

Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ

Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

- ・今年度の但馬地域における貝毒調査は、本調査をもって終了です。
- ・次年度も 6~8 月に月 1 回程度の頻度で調査を実施する予定です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 鈴木 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・谷口 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>